

解答

一

- ① 従「う」 ② 否定 ③ 訪問 ④ 通訳 ⑤ 貴重 ⑥ さば「かれる」 ⑦ そ「って」
⑧ あやま「った」 ⑨ すいそく ⑩ われ

二

- ① 5 ② 4 ③ 1 ④ 3 ⑤ 2

三

- ① 3 ② 1 ③ 4 ④ 5 ⑤ 2

四

- 問一 1 a 7 b 8 c 5 2 4 3 くらうと 4 さわ「った」
問二 3
問三 最初…言葉と 最後…いた。
問四 2
問五 3
問六 a 合唱部の部長 b 入部
問七 4

五

- 問一 ア 1
問二 A 4 イ 2
問三 ① 森林や巨木 ② 都市の森林 D 2
問四 3
問五 人間に穏やかさと安心感を抱かせる（作用）
問六 動となる。
問七 4
問八 俳句
問九 a 生物現象 b 気候との関係で一定の決まり
問十 2
問十一 秋
問十二 1

解説

四

問二 — ①の後にある仲村ナズナと向井ケイスケの会話に着目します。向井ケイスケが合唱部に入ったことを

問七 不満に思う仲村ナズナの様子から選択肢3が選べます。
本文には、僕の席の近くでおこった揉め事と、何もできずにそれを傍観する僕の姿が描かれています。合唱部入部をめぐるいさかいが一通り終わったあと、僕の椅子の位置がずれまくっている様子からは、何もできずクラスに馴染めない僕のむなしさが読み取れるので、選択肢4が選べます。

五

問四 — ③の少し後にある「冬は生物の」→「雪が舞いはじめる。」の間に、われわれが四季折々の表情に感銘

を受けることが具体的に書き表されています。「そして秋は」で始まる段落の「その中に点々と」の一文に着目すると、選択肢3が適当でないことがわかります。

問十二

本文中盤にある「わが国の自然や生き物の」で始まる段落の内容から、選択肢―が適当であることがわかります。